

患者とその家族の心に寄り添い、 質の高い訪問診療サービスを提供



院長 鯨井 一正

Clinic Data

在宅診療 訪問診療 くじら在宅クリニック

東京都豊島区高田 1-37-10 ツーウッズ目白ビルディング 2階

URL : <https://kujira-zaitaku.clinic/>

患者の自宅などに訪問して計画的な医療サービスを提供する『くじら在宅クリニック』。24時間365日体制で、患者とその家族が快適に、安心して生活できるようサポートしている。本日は渡嘉敷勝男氏が同院の鯨井院長に様々なお話を伺った。

——まずは鯨井院長が医療の道を目指されたきっかけと、開業までの歩みから。

医師である祖父と父の背中を見て育ったことが大きかったですね。『埼玉医科大学』で学び、『東京女子医大病院』で専門医の資格を取得した後、内科や麻酔科などで診療に携わってきました。そして6年前から父と一緒に訪問診療をスタート。様々な診療経験で培ったスキルを活かし、今年10月に訪問診療専門のクリニックとして『くじら在宅クリニック』を立ち上げ、現在に至ります。

——素人質問で申し訳ありませんが、在宅医療の「往診」と「訪問診療」は違うのでしょうか。

ええ。往診は具合が悪い時に連絡をも

らって、ご自宅に診察に行くこと。訪問診療は定期的にご自宅などに訪問して、計画的な医療サービスを提供することです。患者さんの体調にかかわらず訪問するので、患者さんやご家族と良好な関係をつくっていきますし、何より患者さんの背景が見えてくる。たとえば何を食べているのか、どんな環境で暮らしているのか。それを把握できることで、一人ひとりに合った適切なアドバイスをすることもできるんです。

——なるほど。外来診療ではそのような背景が見えないでしょうから、大きなメリットがあるのですね。

メリットは他にもたくさんあって、病院のように待ち時間もありませんし、リラックスできる環境でお話できるので、何でも相談していただけます。患者さんにとって、病院は「アウェイ」ですが、自宅は文字通り「ホーム」ですからね。本音が出ますし、病気とは関係のない話もたくさん聞かせていただけます。逆にデメリットはCTなどが撮れませんし、

大きな病院に比べてできることが限られていることなどが挙げられます。

——それだけに、様々な医療機関との連携が大切になってくるのでしょうか。

おっしゃる通りです。大きな病気がある場合や検査が必要な場合などは、病院をご紹介させていただくこともあります。その上で、ケアマネジャーと訪問看護師と密に連携し、“チーム医療”で患者さんを支えていける体制を構築していけたらと考えています。「在宅では困難」と思われる場合も、まずは一度ご相談いただきたいと思いますね。

——それは心強いですね。では最後に、これからの展望をお聞かせ下さい。

これからも患者さんとそのご家族の心に寄り添い、多様なニーズに応える心の込められたオーダーメイドの在宅医療を提供していく所存です。そして、「くじらさんに頼めば何とかなる」「くじらさんなら安心」だと、地域の皆様におっしゃっていただける存在になれるよう、力を尽くしていきます！

(2019年10月取材)



「超高齢社会を迎え、今後訪問診療のニーズは高まっていくでしょうし、『くじら在宅クリニック』さんが果たす役割は大きいと感じました。患者さんとそのご家族のため、これからもチーム医療で支えていきたいですね！」

interviewer
渡嘉敷 勝男

